

絹の光沢が表現する 繊細な日本の美

「日本刺繍の魅力は光沢です」と、日本刺繍工房『繡』の中井まりさんは話します。木綿糸を使う一般の刺繍に対して、日本刺繍は絹糸を使います。1本1本が細くて光沢があるのが特長で、能装束や着物、帯のあしらいなどに施されてきました。しかし最近は、コストの面からミシンで縫われるものがほとんどという状況です。中井さんは手で1針1針を刺す手刺繍にこだわります。手刺繍にはミシンでは出せない味わいや優しさ、風合いがあり、絹本来のもつ美しさを最大限に活かせるからです。

日本刺繍の新しい可能性にチャレンジする活動にも積極的です。さまざまな分野の職人たちとグループ「百年物語」を作り、発想豊かな作品づくりに挑戦しています。受け継いだ伝統的な技と素材で、今に受け入れられる新しいものを創造することが、グループ共通の課題です。



ここがすごい!! 表情豊かなところが日本刺繍の魅力です

絹糸は細く、同じ面積を縫うのにも一般の刺繍の何倍もの針数になります。使う絹糸は10本ほどの管糸を束ねたものを使いますが、より方や本数を変えたり、他の色の糸と混ぜてぼかしたりすることで独特の繊細な表現ができます。見る角度によって違った表情を見せたりする作品も魅力で、優美さを感じます。

「繊細な表現ができるからといって過剰にならないことが大事。空間の美を大切にしたい作品を目指しています」と中井さんは話します。



絹糸。赤だけでもたくさんの色がある



日本刺繍をバッグに入れば、おしゃれなフポイントに



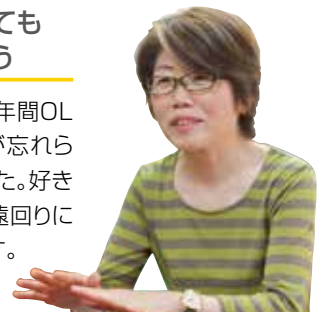
色々な表情が出せるのが魅力



季節ごとに楽しめる“ふくさ”

VOICE たとえ遠回りになったとしても色んなことに挑戦しましょう

私自身、短大を出てから普通に就職して6年間OLとして働いたものの、やっぱり刺繍の魅力が忘れられず、会社を辞めて日本刺繍の道に進みました。好きなことや興味のあることがあったら、たとえ遠回りになったとしても挑戦してみたいと思います。



中井まりさん



「とても細かい作業ですが苦勞を感じさせない作品を目指しています」と話す中井さん

訪問着「秋彩」



世田谷地域

北沢地域

玉川地域

砧地域

烏山地域

日本刺繍工房『繡』

www.atelier-shu.net

代表者 中井 まり
所在地 世田谷区奥沢5-23-20
自由が丘パロンスコート405
設立 平成元年(1989年)
主な事業 日本刺繍の製作及び販売 日本刺繍教室
連絡先 ☎03-3725-7580

